

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年										
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~1日	4月 ~8日	4月 ~15日	4月 ~22日	4月 ~29日	5月 ~6日	5月 ~13日	5月 ~20日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	37	39	48	19	18	20	29	19	12	31	18
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	66	51	44	21	21	19	15	22	7	30	20
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	3	1	1	0	0	2	1	2	0	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	14	11	7	6	6	2	7	3	4	2	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	12	11	13	2	3	1	4	2	1	5	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	7	5	0	2	1	0	0	0	1	0
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	2	11	18	6	12	16	9	7	4	3	2
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	13	13	17	1	2	1	0	0	0	3	0

広島県感染症発生動向週報

平成30年第20週(5月14日~5月20日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3	1				2		
三類	0	発生なし	0							
四類	7	デング熱	1					1		
		日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	5		1			2	1	1
五類全数	30	ウイルス性肝炎(E型, A型除く)	1	1						
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4					4		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	5					4		1
		播種性クリプトコックス症	1	1						
百日咳	17			14			1	1	1	

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町 北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第20週 5/14~5/20)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 手足口病

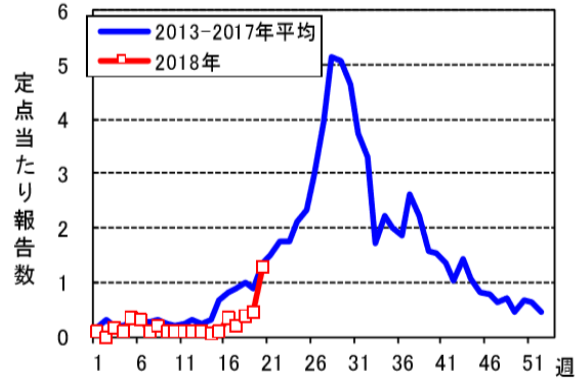
定点当たり1.29人の報告がありました。手足口病は、口の中の粘膜、手足などに水疱性の発しんが出るウイルス性の感染症です。乳幼児を中心に夏季に流行し、咽頭結膜熱・ヘルパンギーナとともに、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。

手洗いの励行、排泄物の適切な処理、タオルを共用しないなど、感染予防対策を心がけましょう。

2. デング熱

1件の報告がありました。デング熱は蚊が媒介する感染症で、熱帯や亜熱帯の全域で流行しており、東南アジア・南アジア・中南米で報告が多くなっています。流行地域を訪れる際には、長袖・長ズボンを着用する、昆虫忌避剤(虫除けスプレー)を使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。

手足口病の流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												↑	↓	
インフルン	インフルエンザ	3	0.08	0.44		小児科	流行性耳下腺炎	9	0.38	0.78		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
小児科	咽頭結膜熱	21	0.88	0.55	⇒	眼科	RSウイルス感染症	6	0.25	0.11		増減	⇒	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	2.75	2.65	⇒		急性出血性結膜炎	-	-	0.03		微増減	⇒	ほとんど増減なし
	感染性胃腸炎	198	8.25	8.83	⇒	流行性角結膜炎	12	1.50	0.60		横ばい	⇒		
	水痘	2	0.08	0.61		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	手足口病	31	1.29	1.34	↑		無菌性髄膜炎	-	-	0.03				
	伝染性紅斑	-	-	0.32			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17				
	突発性発しん	9	0.38	0.46			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0.14	-				
	ヘルパンギーナ	15	0.63	0.31	⇒		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	0.57	-				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	59	女性(20歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
4	デング熱	1	1	男性(30歳代)・推定感染地域: 国外
4	レジオネラ症	2	4	男性(50歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	4	女性(30歳代)・2人、女性(60歳代)・2人
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	8	男性(30歳代)
5	梅毒	4	38	男性(30歳代)・2人、男性(40歳代)・1人、女性(40歳代)・1人
5	百日咳	1	11	女性(10歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の消化器疾患	嘔吐 下痢 腹痛	1	男	2018/03/29	糞便	アデノウイルス2型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載